

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 4月 6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100243
法人名	社会福祉法人 真奉会
事業所名	グループホームあもり
所在地	鹿児島県霧島市隼人町内2075番地2 (電話) 0995-43-8700
自己評価作成日	令和5年3月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和 5年 3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当法人は福祉事業を展開しており、隣接した場所に障害者支援事業のサービスがある。当事業所は霧島市の旧隼人町と旧溝辺町の境に近い場所にあり、遠くに霧島連山を仰ぐ景色の良い場所にある。また、鹿児島空港や嘉例川駅等の観光地、温泉地にもほど近い。事業所の理念として「ありのままのあなたを大切にします」と掲げ日々利用者様が自分らしく、家庭的な雰囲気の中でゆっくり過ごせるように職員一人一人が意識して支援に取り組んでいます。また、昨年7月にネパールから特定技能生4名の受け入れを行いました。介護の仕事への熱い思いが私たち日本人職員にとって刺激となり、事業所全体が介護の質を高めようとする意識を再確認することが出来ました。新型コロナウイルスの影響で、行事や外出など制限を余儀なくされていましたが、壁面づくりや敷地外散歩等を積極的に取り入れ季節感を感じる事が出来るよう取り組んでいます。入居者様の誕生日などは全員で歌を歌ってケーキを食べながら特別な一日を過ごしています。家族や地域との交流については、以前と同様に難しい状況ではありましたが、面会室を設置したことで面会の制限をある程度解除出来、ご家族や入居者様も大変喜ばれています。さらに、食事面では職員の手作りで温かいまま提供しており入居者様の楽しみにしている。隣接された事業所を利用し毎日の日課となっている散歩も入居者様も楽しみにしており活発で健康的に過ごせている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、自然豊かな霧島市隼人町内地区の一角に平成18年に設置されており、隣接して同法人の障害者の通所サービス事業所が併設されている。溝辺地区と隼人地区を結ぶ幹線道路に接し周辺には畑地が広がり一般住宅が点在しており、霧島連山も望めている。通所サービス事業所とは情報の共有と協力体制を築いており、利用者は日常的に対話し、また収穫した野菜を頂くなどの交流を楽しんでいる。

協力医療機関とは日常的に利用者の身体状況を確認するなど密に連携を図り訪問診療が定期的実施され、24時間医療連携により状態の変化時には昼夜を問わず早期の対応がされて利用者や家族の安心に繋がっている。重度化や看取りの対応も利用者や家族の思いを十分に汲み取り、主治医の指示を受けながらチーム体制で取り組んでおり、本年度も2件の看取りを実施している。

開設以来、地域との交流を大切に取組んできており、コロナ禍で制限がある状況下でも日常的に周辺の散歩時の会話や面会(面会室でガラス越し)の実施、通院、住民から寄せられる認知症ケア等の相談対応、農産物を頂くなど良好な関係を築いている。感染予防に努めながら、昨年末より家族との一時帰宅や外出を再開している。現在ホームのイベントは利用者職員とで実施しているが、収束状況を確認しながら徐々に家族等の参加にも取り組む意向である。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者の誇りや尊厳を常に意識し、特性を尊重したその人らしい生きがいのある暮らしの支援に努めている。

管理者および職員は信頼と協力のある良好な人間関係を築いており、日頃の業務の中や職員会議、個別面談等で意見や要望を出し合い改善に取り組んでいる。本年度ネパールからの特定技能実習生4人が採用され充実したサポート体制に努めており、実習生たちは日常会話も支障はなく順調に介護の職務に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「ありのままのあなたを大切にします」を理念に掲げ、入職時やミーティング等で都度確認を行い、日々の業務の中でも意識して取り組もうとしている。	理念は玄関や事務所、リビングに掲示しパンフレットにも記載して周知を図り、利用者の人格や尊厳を尊重しその人らしい平穏な日々が過ごせる支援に努めている。日々のケアの中や申し送り、毎月のミーティング等で意義の確認やケアの振り返りを行って理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染症の影響で地域の方との交流は厳しい状況ではあったが、家族との面会、隣接の事業所からの実習等受け入れを行った。	自治会への加入はないが、隣に住む自治会長は運営推進会議の委員で日常的に地域の情報を伝えて頂き、円滑に交流する関係を築いている。感染予防に配慮しながら家族との面会（面会室でガラス越し、マイクも使用）や周辺の散歩時の挨拶、通院、隣接の障害者施設の利用者との会話を楽しみ、地域の人から農産物を頂いたり、地域住民からの相談対応、周辺の清掃にも取り組んでいる。感染予防を徹底しながら積極的に交流を図る意向である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議も感染症影響で書面開催が続いている。感染症が緩和されたら、集合開催等取り入れ、介護相談窓口や地域との交流の場を設けていきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	集合開催が出来ていないが、文書や電話でのやりとりを行っている。	会議は利用者や家族、民生委員、自治会長、市担当者等が参加して定期的に開催しているが、コロナ禍のため書面での会議が続いている。ホームの現況や行事、感染症対応、身体拘束、ヒヤリハット等について報告し、委員からは意見や要望等を文書で貰って改善に繋げている。来年度は感染状況を把握しながら対面での会議開催を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から電話連絡や文書等で連携を図っている。	市役所本所や単人支所の窓口に出向いたり電話、FAX等で介護保険や各種制度、コロナ禍対応の協議、生活保護受給中の利用者（3人）に関する連携を行い、助言や指導を貰うなど、日頃から協力関係を築いている。市からのメールでの連絡事項を把握し、ズームによる研修等にも参加して改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月毎に身体拘束委員会を開催している。普段から身体拘束になっていないか意識しながら取り組んでいる。	身体拘束の無いケアについては運営規定や利用契約書、重要事項に明記され、計画的な研修の実施や日頃の業務の中、ミーティング等での振り返りや意見交換で認識を共有している。「身体拘束等の適正化のための指針」を整備し、委員会も年4回開催して安全で自由な生活の支援に努めており、スピーチロックを含む不適切な言動には、その都度、助言し合い、「虐待防止チェックシート」（年2回44項目）も実施して改善を図っている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてのアンケート等を実施し振り返りを行い防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業を利用している方がいる。制度のに関しては、職員全員が理解出来るよう勉強会等行っていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧に説明を行い、質問や疑問等についてはその都度対応を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の方とはこまめに連絡を取り合って状況報告や相談事等対応を行っている。	利用者の思いは日常の会話や表情、仕草等で汲み取り、家族からは面会や電話、手紙、LINE、タブレットの動画等で利用者の様子や変化等を伝えながら気軽に意見を言ってもらうように努めている。ミーティングや申し送り等で意見の内容を協議して改善を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティング等を通じて職員の意見や提案を受け、取り入れる工夫を行っている。また、時間を作り職員からの要望等にも都度対応を行っている。	管理者及び職員は信頼関係を築いており、業務の中やミーティング時に要望や意見を出し合い、また人事考課時の個人面談の実施や個人的な相談でも把握し、法人本部とも協議しながら改善を図っている。本年度ネパールからの特定技能実習生4人が採用されたためサポート体制を充実して良好な関係を築いており、会話や業務の支障も無く利用者からも好意的に受け止められている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を取り入れている。目標達成に向けた取り組み等一緒に考えたり、困っている事や悩み事はないか等も話をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	毎月動画での研修と意見交換を行っている。今後は外部講師を招き実践的な研修も取り入れていきたい。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	事業者連合会に加入している。感染症が緩和されたら、交流会なども開催していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは入居するご本人に逢う事を意識している。情報提供書だけではなく、直接お会いし不安に思っている事等傾聴している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	関係機関とも連携を図り、家族の困り感や不安な事等について対応している。初期段階は特に注視している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	体験等を行い施設になじめそうか確認を行いながらニーズの把握も行う。そのうえで必要としているか、その他のサービスの方が望ましいか考え家族とも話を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	様々な場面においてしっかりと確認・同意を求め、本人の意思や気持ちを大切にするケアに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	まずは入居するご本人に逢う事を意識している。情報提供書だけではなく、直接お会いし不安に思っている事等傾聴している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	関係機関とも連携を図り、家族の困り感や不安な事等について対応している。初期段階は特に注視している。	利用者毎の馴染みの状況を共有し、家族の意向も確認しながら支援している。感染予防に配慮しながら家族、友人等との面会や訪問美容、周辺の散歩、実習生の受け入れ、ドライブによる花見、一時帰宅を取り組んでいる。また、葬儀や法事への参加も、利用者や家族の心情を汲み取って実施している。電話や手紙を取り次ぎ、LINEやタブレットで状況を詳しく伝える等関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体験等を行い施設になじめそうか確認を行いながらニーズの把握も行う。そのうえで必要としているか、その他のサービスの方が望ましいか考え家族とも話を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	様々な場面においてしっかりと確認・同意を求め、本人の意思や気持ちを大切にするケアに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントだけでは分からない部分もある為、ご家族や関係機関等と連携を図っている。また本人の気持ちや思いを汲み取るよう心掛けている。	コミュニケーションが困難な利用者もいるが、日頃の会話や仕草等で思いを汲み取り、その人らしい生きがいのある暮らしとなるよう家族とも連携して支援している。選択肢の提示や働きかけで意向を確認し自己決定を尊重したケアに努めており、趣味（カラオケ、音楽やテレビの視聴、パズル他）や菜園での花植えや草取り、食事の手伝い等もプランに反映させて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や本人の趣味嗜好について本人や家族へ確認をしながら今までと変わらない暮らしを提供できるよう取り組んでいる。以前利用されたサービスへの確認も行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自宅での様子や施設での様子等こまめに確認を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族との話を行い、職員からもケア方法等聞いている。チーム支援が行えるよう取り組んでいる。	本人・家族の思いを汲み取り、主治医の指示や日頃のケアの状況、モニタリング時の意見等を基に介護計画を作成しており、ケアの方法や楽しみごとにも配慮した内容になっている。ケアの実施状況は申し送りや日誌、ケース記録等で共有し、状態の変化時には実態に沿って計画を変更しており、内容は家族にも説明して理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子や夜間の様子などしっかりと記録に残している。また、日誌や申し送りノート等も活用しながら情報共有にも努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の生活リズムやその人のペースに合わせたケアに取り組んでいる。また、隣接している事業所の行事へも参加している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問看護や訪問散髪等取り入れている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診や他医療機関の受診等にご家族の協力も得られている。普段からこまめに連携を図っている。	利用者毎に病歴等を把握し本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、現在は全利用者が協力医療機関を主治医としている。定期的な訪問診療（月2回）が実施され、専門医受診（整形外科）は家族と協力して対応するなど適切な医療が受けられており、訪問歯科や必要に応じて訪問看護も取り組んでいる。日頃から衛生や健康管理を徹底し、協力医療機関とは24時間医療連携の体制も築かれて、利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタルチェックはもちろんであるが、普段から異変はないか意識して取り組んでいる。普段と違う事があれば医療機関へ相談し受診を行う等の連携も図れている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	電話や文書等で普段から関係構築に努めている。往診時等もしっかりと診てもらい日々の健康状態の維持を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に意思確認を行っているが、変化があった際は都度家族の意向と本人の意向を聞いている。本人・家族を含めて主治医と話をを行い対応している。	重度化や看取りの指針を整備し入所時や病状の変化に応じて本人や家族に説明して理解を得ており意思確認書も貰っている。重度化した時点で家族の意向を再度確認し、可能な限り利用者や家族の意向に沿ってチーム体制でのケアに取り組んでおり、本年度も2件の看取りを実施している。看取り後は振り返りや意見交換を行ってスキルアップや不安感の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルはあるが、マニュアルだけに捉われず、実践的な訓練や勉強会等開催していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練や火災訓練を行っている。自施設だけではなく、今後は地域との方への協力をもらいながら合同訓練等も取り入れていきたい。</p>	<p>年2回（うち1回は消防署立ち合い）夜間発生も想定した地震災害から火災発生に至る訓練を実施し、避難や通報、消火器等の取扱いの研修も実施している。スプリンクラーや自動通報装置等が設置され、連絡網の整備や設備の定期点検を実施している。災害時の食料や飲料水、介護用品等は3日分程度備えており、法人本部でも備蓄している。BCPは法人本部を中心に作成中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティングや研修等を通じて言葉遣いやプライバシー保護に気を付けている。	人格の尊重や個人情報の取扱い、守秘義務については運営規定や利用契約書等に明記され、研修の実施やケアの中で認識を共有しており、利用者の思いや習慣、特性を大切にされた対応に努めている。居室への入室時は声掛けやノックを励行し、衣服の選択や余暇時間の過ごし方も自己決定を尊重して取り組んでいる。情報紙への掲載については入所時に意向を確認し、居室の氏名表示は行っていない。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段からたくさんコミュニケーションを図っている。本人の趣味嗜好を確認しながら様々な活動に参加し選択の機会を設けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	就寝時間や起床時間は本人のペースに合わせて対応を行っている。食事量や水分量等もその方に合わせた取り組みを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問散髪を提供している。また、起床後の洗面時も髪を櫛でといたりひげを剃るなど身だしなみにも気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食等普段とは違う食事の提供にも力を入れている。また、お盆拭き等出来る方へは協力ももらい一緒に行っている。	利用者の好みや形態、栄養バランス、代替品、季節感等に配慮し頂いた野菜も活用しており、状態に応じた介助に努めている。おせちや彼岸、お盆等季節の行事食や敬老会の仕出し弁当、花見の弁当、誕生日の希望食やケーキ、手作りのおやつ（芋餅等）、ウッドデッキでのお茶等、食事が楽しみなものになるよう工夫しており、利用者も片付け等を一緒に行っている。コロナ禍に配慮して現在は外食や家族との会食は控えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取量等しっかり確認を行っている。飲料水については本人の飲みなれてきた物や好きな飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。歯科往診も取り入れている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来るだけトイレへの誘導を行っている。夜間や本人の状態に合わせてオムツ使用も行っている。	利用者毎の排泄リズムをチェック表で把握し、心身の状況に配慮しながら昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。夜間のみポータブルトイレやリハビリパンツを使用する利用者もあり、介護用品の消費が減少するなどの改善が見られている。便秘の予防に食物繊維の多い食材や乳製品、運動量に配慮して自然排便に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を確認している。なるべく便秘にならない様、食事面では排泄を促す食べ物や、体を動かす活動等も取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回入浴を行っているが、必要に応じて足浴やシャワー浴を行っている。入浴剤の使用等ゆったり入れる工夫も行っている。	利用者の心身の状態に配慮しながら週2～3回の入浴を基本に、清拭、シャワー浴、2人介助も行いながら清潔の保持に努めている。温度や時間、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応し、入浴剤も使用して個浴で気持ち良く楽しんでもらっており、入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当等を支援している。入浴をためらう利用者には無理強いないで時間の変更や声かけ等を工夫し、状況によっては家族の協力も貰っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないように、本人に合わせた昼寝の時間等確保している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報の確認と服薬セットは看護師が対応している。服薬の際は職員2人以上での確認と、本人に名前・日付確認で再度確認してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩やラジオ体操等積極的に参加している。花の植え替え等も取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コスモス見学や花見等季節感を感じる事が出来るようドライブに行ったりしている。また、ご家族との外出や墓参り等制限もあまりかけず家族との時間を大切に出来るよう取り組んでいる。	コロナ禍で外出計画も十分には実施出来ない状況が続いているが、利用者の状態に配慮しながら園庭や周辺での散歩を日常的に実施し、ドライブによるコスモスや桜の花見、鬼火たきの見物、一時帰宅や外泊、他科受診時には車窓から街並みや景色を楽しんでいる。室内での軽い体操やゲーム、季節に応じた作品作り等でリフレッシュを図っており、今後はコロナ禍の収束状況を確認しながら徐々に外出の機会を増やす意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	自己管理が難しい方が多いため現在は金銭の管理は行わず家族にて対応している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	手紙や電話の要望があれば都度対応行っている。家族からの電話も取次対応している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	同法人内で作成された壁画を飾り、季節感を感じてもらえるよう取り組んでいる。共有の空間についても、しっかりと動線を確保し妨げにならないよう気を付けている。	リビングは、余裕のあるスペースが確保され明るく開放感に満ちており、畳スペースやウッドデッキも設けられている。随所に活花や季節感ある利用者の作品、写真が飾られ調理の音や匂いが伝わるなど、家庭的な雰囲気である。テーブルセットや空気清浄機、加湿器等の家具が動線に配慮して置かれ、清掃や空調、衛生管理に努めて快適に過ごせる環境になっており、利用者は四季を感じながら平穏に過ごしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	利用者一人一人が穏やかに過ごせるようソファの位置や和室の利用等も促している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の愛用していた物や家族との思い出の写真等、居心地のよい居室環境を提供している。</p>	<p>フローリングに腰高窓の居室は明るく、エアコン、ベッド、タンスが備えられている。利用者は愛用していた寝具やテレビ、家族写真、遺影、小物等を持ち込み、自身の作品や誕生日・長寿祝いなどで頂いた色紙等も飾って、その人らしい憩える居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室や共有部分は、動線を確保し障害物となりうるものは取り除いている。なるべく残存機能を活かし自立した生活が送れるよう取り組んでいる。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない